

日本膜学会 第 39 年会のお知らせ

日本膜学会第 39 年会を下記の要領で早稲田大学にて開催いたします。例年通り人工膜、生体膜、ならびに境界領域と、膜学の広範囲な内容を含む年会を企画しております。一般発表以外に人工膜と生体膜の特別講演を各 1 件、ならびに人工膜 3 件、生体膜 1 件、境界領域 1 件の計 5 件のシンポジウムを開催します。基礎から応用まで膜の科学、技術に関心をお持ちの皆様のご参加とご発表（口頭およびポスター発表）をお待ちしております。詳細は膜学会ホームページ（<http://maku-jp.org/>）にてお知らせいたします。会員でない皆様も、これを機に是非ともご参加、ご発表頂きたく案内申し上げます。また、学生による優秀な発表に対し学生賞を設けていますので、ふるって応募して下さい。ただし、学生賞の審査対象はポスター発表に限ります。

記

開催日程：2017 年 5 月 26 日（金）、27 日（土）

開催会場：早稲田大学（西早稲田キャンパス 63 号館）

主催：日本膜学会

共催：早稲田大学

日本膜学会第 39 年会プログラム

●人工膜特別講演

「イオン液体と膜科学の接点」

大野弘幸先生（東京農工大学）

●生体膜特別講演

「膜タンパク質の構造生理学」

藤吉好則先生（名古屋大学）

◆人工膜シンポジウム 1「膜による水処理技術を展望する VIII～新しい水処理膜への挑戦～」

オーガナイザー：川勝孝博（栗田工業）、熊野淳夫（東洋紡）、赤松憲樹（工学院大学）

◆人工膜シンポジウム 2「ナノファイバーが創る機能膜」

オーガナイザー：川上浩良（首都大学東京）

◆人工膜シンポジウム 3「膜分離法による CO₂ 分離回収技術」

オーガナイザー：谷口育雄（九州大学）

◆生体膜シンポジウム「生命を操る生体膜機構～膜形態と細胞機能制御の最前線～（仮）」

オーガナイザー：中瀬生彦（大阪府立大学）

◆境界領域シンポジウム「ハイドロゲル –その理論と材料開発–」

オーガナイザー：伊藤大知（東京大学）、大橋秀伯（東京農工大学）

問合せ先

日本膜学会事務局第 39 年会係

〒 113-0033 東京都文京区本郷 5-26-5-702

Tel & Fax：03-3815-2818,

E-mail：membrane@mua.biglobe.ne.jp

日本膜学会 会長 高野 幹久
日本膜学会第 39 年会組織委員長 岡村恵美子
同 副組織委員長 川上 浩良